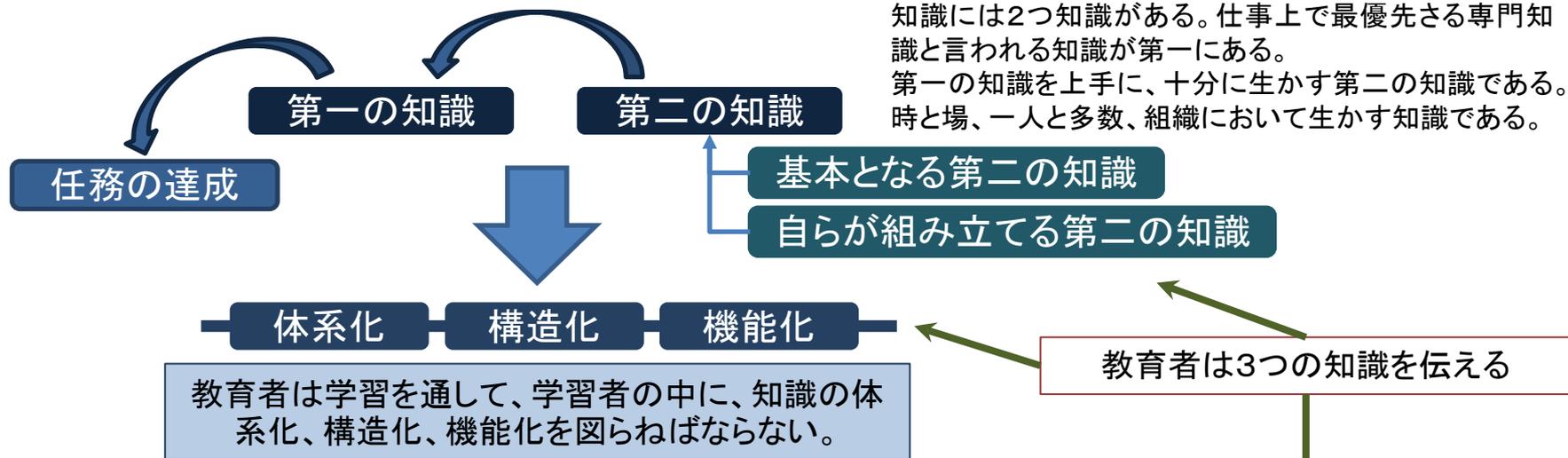


知識を資産にする

知識には2つ知識がある。仕事上で最優先する専門知識と言われる知識が第一にある。第一の知識を上手に、十分に生かす第二の知識である。時と場、一人と多数、組織において生かす知識である。



知識は、世界中に無数に存在し、常に新たに生れている。

現象、事象、見聞などによって認識された成果が知識である。考え方、見方、感覚なども認識されて別の形(例えば言葉)に置き換えられて知識になる。知識は一つの論理を持つ。

単に「知っている」は知識にはならない。

科学は、テーマ(対象)が明確であり、成果(目的)が定められている。科学には原理、原則(普遍的な事象と論理)がある。科学で解き明かされた方向、方法は一定の成果をあげられる。対象科学をマスターした誰でもが、科学に基づく成果を得られる。

